

第1回 三重県議会「議員勉強会」の開催について

■趣 旨

地方財政の状況が厳しさを増すなか、財政の透明性を高め、県民に対する説明責任を適切に果たすことが重要となっている。また、地方分権の進展に伴い、自由でかつ責任ある地域経営が地方公共団体には求められている。

こうしたなか、分かりやすい財務情報の開示による説明責任の履行のほか、資産・債務管理や予算編成、行政評価等での活用によるマネジメントの強化、さらには財政の効率化・適正化の推進を図るために、新しい地方公会計の整備が進められており、このような制度改革の概要と改革のなかで期待される議会の役割について理解を深めるものとする。

■日時・場所

平成26年10月17日（金） 13:30～15:00

三重県議会議事堂3階 全員協議会室

■講師・演題

「地方公会計改革と議会の役割（仮題）」

講師：石原 俊彦（いしはら としひこ）氏

（関西学院大学専門職大学院経営戦略研究科 教授）

【講師紹介】

○石原 俊彦（いしはら としひこ）氏

1960年大阪府生まれ。1984年関西学院大学経済学部卒業。地方自治体を中心とした公共部門のマネジメントとガバナンスを研究対象とし、専門分野は会計学、監査論、公会計論、公共経営論など。公認会計士。英国勅許公共財務会計協会（CIPFA）名誉会員。国際公会計学会（JCIGAR）会長。総務省第30次地方制度調査会委員、同省「今後の新地方公会計の推進に関する研究会」構成員、同省地方行財政検討会議構成員など。1998年には、三重県が公表した発生主義会計の決算書作成に関与。著書に、『地方自治体ファイナンス』『地方自治体組織論』『地方公営企業経営論』など多数。

